

プロジェクトの実施 (島根半島西部地域)



出雲大社



日御碕



経島



鷺浦

4.4 プロジェクトの実施（島根半島西部地域）

神話の舞台・島根半島では、官民挙げて「国引きジオパーク構想」の取組が進められている。今後、国立公園満喫プロジェクトを進めるに当たっては、こうした取組と連携して、国立公園の魅力に磨きを掛けるとともに、地質遺産やラムサール条約登録湿地といった優れた自然景観はもとより、出雲国風土記など、この地に息づく神話や、国宝に指定されている出雲大社、重要文化財に指定されている日御碕神社をはじめとした歴史遺産、ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されている経島、さらには、出雲国神仏霊場二十社寺めぐり、えびすだいいこく両参り、四十二浦巡り、和布刈神事、各地に残る風習・祭りなど、脈々と受け継がれてきた歴史文化を世界に発信し、訪日外国人の増加を目指す。

島根半島の北西に位置する大社・日御碕・鷺浦地域は、出雲国風土記（733年に編纂）にも記された古くから由緒ある場所である。日御碕地区の日御碕神社は、国の重要文化財に指定されているとともに、日の本の夜を守る神社と伝えられており、古来から神幸神事（夕日の祭り）が執り行われている。この神代の時代から現代にかけて誰をも魅了する夕日のロケーションは、歴史的な付加価値もあわせて世界に誇れる地域の宝であり、訪日外国人をはじめとする旅行者に感動を与えるスポットとなるよう整備を図る。

さらに、日御碕・鷺浦地域においては、ダイナミックな日本海を舞台として、ダイビング、釣り、シーカヤックなどのアクティビティも楽しめ、日本海で採れる絶品の海の幸を提供する宿泊施設（ホテル、民宿、古民家）もあり、受入環境を整えた世界水準のナショナルパークとして、全世界へ情報発信を図る。

一方、オーバーユース対策の検討なども考慮し、来訪者のごみ対策の徹底、立入エリアの制限、海岸清掃やまちなみの美化、自然保護や環境保全の意識の高いガイドの養成、地元住民や来訪者の意識改善を図るなど、自然保護や環境保全面においても世界に誇れる取組を行う。

(1) 主要交通拠点から国立公園主要利用拠点までのアクセスルートに係る事項

1) アクセスルートの特定と取組方針

島根半島西部地域へ来訪する外国人旅行者の交通拠点として、JR 出雲市駅、出雲空港、一畑電車出雲大社前駅、山陰自動車の近隣 IC、米子空港、境港、JR 松江駅を想定する。

交通拠点から島根半島西部地域の利用拠点を結ぶ二次交通ルートを以下のとおり設定し、重点的に景観形成を図るべきルートとして位置づけ、良質な景観の確保と利便性の向上を図る。

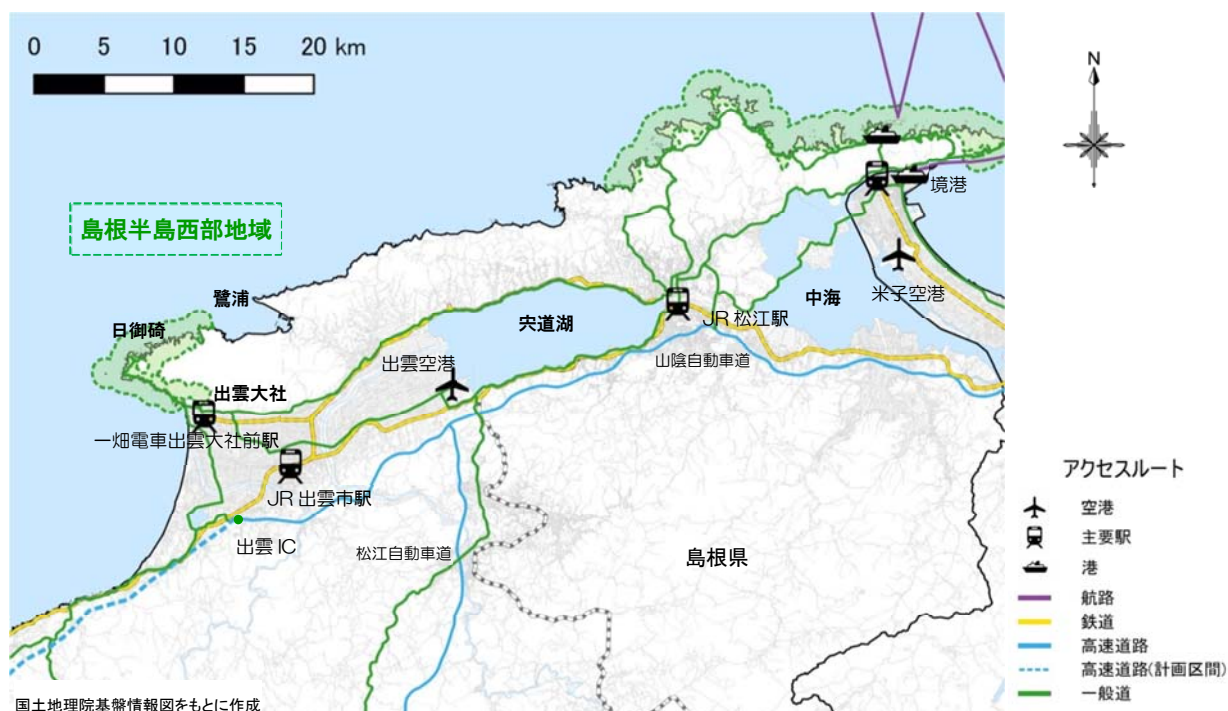


図 18 アクセスルート図（島根半島西部地域）

2) アクセスルート上で実施する事項

想定されるルートは、一部国立公園区域内も含め島根県、関係自治体の屋外広告物条例や景観形成条例で広告物等の乱立を規制しており、主要道路沿線を中心に景観の保全を図っているところである。

今後も法令等による規制を適切に実施し、老朽化などにより景観を阻害するに至った広告物や廃屋施設の整理に努め、現状を維持するとともに、更なる景観改善や公園利用者の利便性の向上が図られるよう、景観に配慮したガードレール、主要ビューポイントへの誘導看板の充実等を検討する。

また、インターネットによる国立公園内の魅力やアクセス情報などの提供のため、スマートフォン観光アプリケーションの活用を検討する。

表 57 (1) アクセスルート上の実施方針

方針	想定主体
平成 29 年度に、訪日外国人をはじめとした公園利用者が迷うことなく観光地を訪れることができるようスマートフォン観光アプリケーションの活用を検討する。	中海・宍道湖・大山圏域市長会 出雲市 民間事業者等
平成 29 年度に、景観を乱している工作物や看板等を調査し、撤去について検討し、平成 30 年度までに設備管理者に働きかける。	環境省 島根県 出雲市 民間事業者等



表 57 (2) アクセスルート上の実施方針

方針	想定主体
平成 29 年度に、訪日外国人をはじめとした公園利用者が迷うことなく観光地に訪れることができるよう、道の駅などに設置されている案内看板や解説板などの多言語化整備や、アクセスルート上の誘導標識の見直し、デザインの統一化などを検討する。	環境省 島根県 出雲市 民間事業者等
平成 32 年度までに、外国人をはじめ公園利用者がインターネットを利用し、無料で多くの目的地の情報を引き出せるよう、アクセスルート上の主要拠点において Wi-Fi 環境整備を促進する。	島根県 出雲市 民間事業者等

(2) 国立公園内に係る事項

1) 島根半島西部地域全体の取組方針

島根半島西部の公園内に位置する「出雲大社」と神門通りを含めた出雲大社周辺地域は、平成 25 年、60 年ぶりの平成の大遷宮で約 800 万人の参拝者・観光客で賑わい、3 年を経過した現在においても、年間約 600 万人もの参拝者・観光客が訪れており、活気ある観光地となっている。

島根半島西部の課題としては、出雲大社には多くの参拝客が訪れているが、海岸沿い約 10km 先に位置する日御碕地区や、そこからさらに東に位置する鷺浦地区は、景観、歴史、文化及びアクティビティに恵まれる地区でありながら、あまり多くの方が足を運んでいない点があげられる。出雲大社からの交通アクセスが悪い点と、出雲大社の参拝客を誘導する案内看板等が少ないなど PR 不足がその原因として考えられる。

島根半島西部地域は、公園内の多言語化看板の設置や観光案内などの見直しによる観光客誘導対策の実施と、日御碕地区、鷺浦地区の素材の磨き上げ、訪日外国人をはじめとした公園利用者に対するおもてなし強化など、地域の受け入れ体制・取組など徹底した見直しを図り、公園利用者の増加を目指す。

① 多様なサービスのための民間活用

(i) ビジターセンター等公共施設の民間開放等

- 施設を再整備し、自然体験に係るアクティビティやガイドサービスを提供するツアーデスクを設置し、民間事業者等の誘致も検討する。

(ii) 上質な宿泊施設の提供

- 外国人旅行者受け入れのための研修会の開催など、（一社）出雲観光協会、日御碕民宿組合ほか関係機関と連携し、施設の改善や提供する各種サービスの質の向上など、ソフト面、ハード面の両面からインバウンド受け入れ体制を検討する。
- 民泊施設によるインバウンド受入を積極的に検討する。

(iii) ツアー・プログラム開発とガイド育成

- 出雲大社を中心とした歴史文化に関するもののほか、日御碕の自然体験や鷺浦地区のまちなみの魅力を活かしたツアープログラムの開発とガイド育成を検討する。

- 食や文化体験と組み合わせた魅力的なプログラムの開発を検討する。

(iv) 利用料等の公園管理への活用

- 施設利用料や協力金、ツアー・プログラム料金の一部について、施設や景観維持管理に活用する仕組みについて検討する。

② まちなみ等の景観改善

- 島根半島西部地域の取組にあわせた景観基準について、関係自治体、公園内の住民、事業者などで話し合いながら検討を行う。
- 廃屋などの撤去、修景伐採や緑化、誘導標識の見直しやデザインの統一化などを検討する。

③ インバウンド対応のための施設整備等

- 多言語化看板や誘導標識の見直し整備
- トイレの一部洋式化
- Wi-Fi 環境整備
- キャッシュレス環境整備
- 既存施設の再整備によるインバウンド向けの情報提供・案内機能の向上
- 宿泊事業者との連携を図り、宿泊施設の充実とサービスの質の向上につながる取組の促進
- 主要な利用ルート上における公園区域境界付近において、国立公園エントランス標識整備の検討

2) ビューポイント（重点取組地域）に係る事項

① ビューポイントの設定

本地域におけるビューポイントを以下のとおり設定する。

i 大社・日御碕・鷺浦



図 19 ビューポイント位置図（島根半島西部地域）

② ビューポイント等において実施する事項

(i) 大社・日御碕・鷺浦

島根半島西部地域に位置する「出雲大社」の神門通りは、国立公園区域外ではあるものの、平成の大遷宮を契機におもてなしの取組がなされ、近年では多くの訪日外国人旅行者も訪れている。ここから日御碕、さらにその東の鷺浦まで、旅行者を誘導していくために多言語化した誘導看板の整備など、観光案内の強化を図る。

日御碕はリアス式海岸の岸壁に東洋一の出雲日御碕灯台が雄大にそびえ立つ景観が素晴らしく、国の天然記念物であるウミネコの繁殖地「経島」、スサノオノミコトとアマテラスオオミカミを祀る朱色の鮮やかな神殿で夜を守る神社として知られる日御碕神社が位置している。また、ダイビングなどマリンスポーツも体験することができ、景観鑑賞だけでなく、アクティビティや歴史・文化にも優れた観光地であり、地元のおもてなしを強化し訪日外国人旅行者などに長期滞在をしてもらうことを目指す。

また、快適に公園を利用していただくために、トイレの洋式化等再整備、遊歩道、案内板（多言語化）などの基盤整備を図り、好印象を与えリピーター率の向上を目指す。

日御碕海岸の夕日の眺望は、悠久の昔から見る者に感動と力を与えるパワースポットであり地元之宝である。夕日観賞地点の展望所や鑑賞小屋（休憩所）を再整備し、全世界へ情報発信する定点カメラの設置などに取組むことで「日本一の夕日スポット」を目指す。

鷺浦地区は、日御碕に隣接した山と海に囲まれた小さな港町であり、かつては、北前船や大阪商船の寄港地、鶴峠・鷺鉾山（銅・石膏）で栄えた時代もあり、海と山の自然の恵

みを受けながら、美しい自然と、赤瓦の美しい家々、古いまちなみが今でも残っている。最近では、塩炊き体験、鷺浦遊覧、カヤックによる島めぐりなど様々なアクティビティや森林公園「夢の森うさぎ」と連携して事業を実施するとともに、古民家を宿泊場所として提供するなどの取組が進められており、今後、訪日外国人旅行者に長期滞在をしてもらうよう重点的な取組を進めるとともに、地元のおもてなしの見直し、受け入れの強化を図る。

ア) 多様なサービスの提供のための民間活用

a) ビジターセンター等公共施設の民間開放等

表 58 公共施設の民間開放方針（大社・日御碕・鷺浦）

方針	想定事業	想定主体
平成 29 年度に、日御碕休憩所施設の再整備により、インフォメーション、ツアーデスクの設置を検討する。	日御碕園地	環境省 島根県 出雲市 民間事業者等

b) ツアー・プログラム開発とガイド育成

表 59 ツアー・プログラム開発とガイド育成方針（大社・日御碕・鷺浦）

方針	想定主体
平成 29 年度に、出雲大社を中心とした神話や歴史文化と、日御碕地区や鷺浦地区への誘導を念頭に、サイクリング、遊歩道周遊などのアクティビティとあわせて、日御碕沖のダイビングによる海底遺跡めぐり、シーカヤックによる海岸めぐり、トレッキングで鷺浦地区の町並みめぐりなど、魅力のある自然体験ツアー・プログラムの開発とガイドの育成を検討する。	出雲市 民間事業者等

c) 利用料等の公園管理への活用

表 60 利用料等の公園管理への活用方針（大社・日御碕・鷺浦）

方針	想定主体
平成 29 年度に、一部施設の有料化や協力金徴収、ツアー・プログラム料金の一部を施設や景観維持管理に充てる仕組みの検討を行う。	島根県 出雲市 民間事業者等

イ) まちなみ等の景観改善

表 61 (1) 景観改善方針（大社・日御碕・鷺浦）

方針	想定事業	想定主体
平成 29 年度に、日御碕地区においては、拠点のまちなみ景観を阻害する廃屋施設の撤去や再整備、無電柱化を検討する。	日御碕集団施設地区	島根県 出雲市 民間事業者等

表 61 (2) 景観改善方針（大社・日御碕・鷺浦）

方針	想定事業	想定主体
平成 32 年度までに、日御碕地区においては、海岸景観を阻害する樹木や枯損木について修景のための伐採処分を行う。	日御碕集団施設地区	島根県 出雲市 民間事業者等
平成 29 年度に、日御碕に隣接する港町、鷺浦地区においては、石州瓦の赤屋根が並ぶ昔ながらのまちなみ景観を維持するための取組を関係自治体、地域住民、事業者等の話し合いにより検討する。	鷺浦地区	出雲市 民間事業者等

ウ) インバウンド対策のための施設整備等

表 62 (1) 施設整備方針（大社・日御碕・鷺浦）

方針	想定事業	想定主体
平成 29 年度に、日御碕休憩所施設をインフォメーション、ツアーデスクとして活用できるよう、館内サインの多言語化、外国人利用者に分かりやすい展示施設の整備、その他インバウンド対策を中心とした再整備を検討する。	日御碕園地	環境省 島根県 出雲市 民間事業者等
平成 32 年度までに、日御碕地区において夕日観賞地点の展望所や休憩所の再整備と世界への映像配信のための定点カメラの設置、日御碕の夕日を説明する多言語化看板の設置等を検討する。	日御碕園地	環境省 島根県 出雲市 民間事業者等
平成 29 年度に、国の天然記念物である日御碕経島のウミネコ観察のための休憩所の再整備と世界への映像配信のための定点カメラの設置を検討する。	日御碕園地	環境省 島根県 出雲市 民間事業者等
平成 32 年度までに、日御碕・鷺浦地区において、空家を利用した外国人利用者対象の田舎暮らし体験など長期滞在を可能とする施設の増加を促進する。	しまね田舎ツーリズム	島根県 出雲市 民間事業者等
平成 29 年度までに、訪日外国人をはじめ公園利用者に、快適に公園を利用してもらうため、基盤整備として日御碕地区の 2 か所（日御碕駐車場のトイレ及び、日御碕灯台前）のトイレの洋式化等再整備を行う。	日御碕園地のトイレ 洋式化等再整備	島根県
平成 32 年度までに、訪日外国人をはじめ公園利用者に、快適に公園を利用してもらうため、トイレの洋式化などトイレ・休憩所の再整備について検討を行う。	日御碕鷺浦線道路（歩道）	環境省 島根県 出雲市



表 62 (2) 施設整備方針（大社・日御碕・鷺浦）

方針	想定事業	想定主体
平成 32 年度までに、訪日外国人をはじめとした公園利用者が、安心して快適な利用ができるよう老朽化した駐車場や遊歩道の再整備を図るとともに、案内、誘導標識等のデザイン統一と多言語化などの整備を実施する。	日御碕園地 鷺浦地区	島根県 出雲市
平成 32 年度までに、訪日外国人をはじめとした公園利用者の安心安全の向上を図るため鷺浦地区の遊歩道について再整備を図る。	日御碕鷺浦線道路（歩道） 追石鼻線道路（歩道）	島根県
平成 32 年度までに、訪日外国人をはじめとした公園利用者が、自然を眺めゆっくりくつろげるよう、魅力的な店舗の整備について検討する。	日御碕地区 鷺浦地区	島根県 出雲市 民間事業者
訪日外国人をはじめとした公園利用者が迷うことなく観光地を散策するとともに観光地のストーリーを分かりやすく理解してもらうため、平成 29 年度にスマートフォン観光アプリケーションの活用を検討する。	—	中海・宍道湖・ 大山圏域市長会 出雲市
平成 32 年度までに、訪日外国人をはじめとした公園利用者がスマートフォンなどを安心して利用できるよう主要な利用拠点における Wi-Fi 環境の整備とキャッシュレス施設整備を促進する。	—	出雲市 民間事業者等
平成 29 年度に、訪日外国人をはじめとした公園利用者が快適に滞在できるよう宿泊事業者の館内・客室内のトイレの洋式化、Wi-Fi の整備、館内及び案内表示の多言語化などインバウンド対策を検討する。	日御碕・鷺浦地区の宿泊施設インバウンド対策	島根県 出雲市 日御碕民宿組合 民間事業者等
平成 29 年度に、訪日外国人をはじめとした公園利用者の移動について、日御碕地区、鷺浦地区への誘客のため効果的な二次交通対策と大社地区における観光案内の強化・誘導看板の設置について検討する。	二次交通対策 大社地区での誘導看板・観光案内	出雲市 民間事業者等